

街の樹木

公園・緑地の植栽点検シリーズ

第5回



樹木の安全点検

倒木や落枝の危険を発見しよう!

その2 幹の揺れ・傾斜



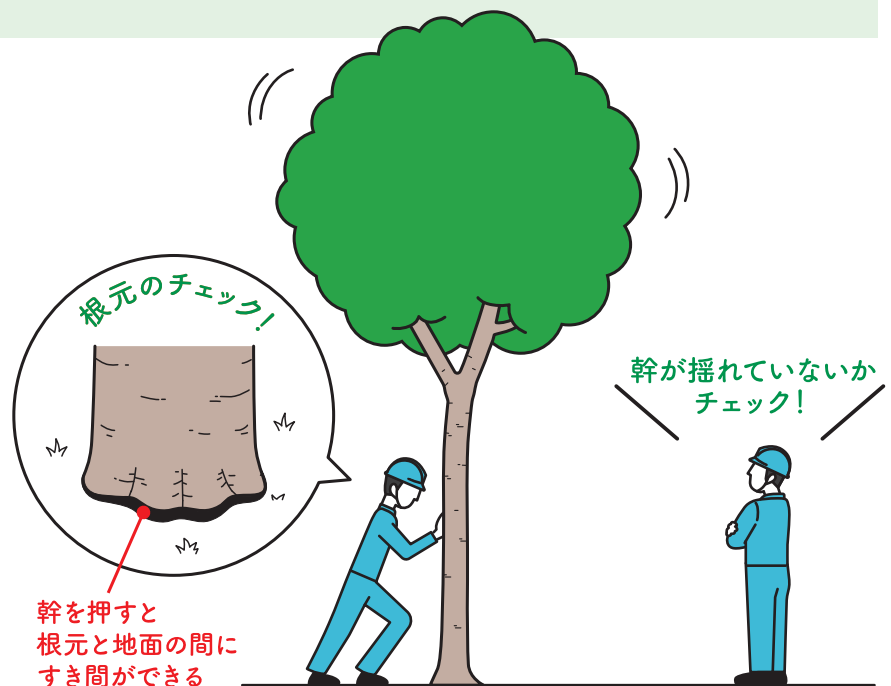
倒木する主な原因の一つとして根の問題が挙げられます。根は地中にあり、普段は直接観察することが出来ないため、根の異常に気がつくことは難しいと思われるかもしれません。

今回は、幹の揺れや傾斜などを確認することで、根に問題があり、倒木する危険性の高い樹木を発見する方法を紹介します。

1 幹の揺れ

両手で幹をタイミングよく何度か押してみましょう。根が十分に発達していない場合や腐朽していたり切断されていたりすると、根元から幹が揺れます。揺れが大きく、根元と地面の間に隙間が出来たり、根鉢ごと揺れたりする場合は倒れる可能性が高いかもしれません。

幹を押しながら根元を確認する人と離れて幹が揺れていないか確認する人の2名で行うと判断しやすいです。



2 幹の傾斜

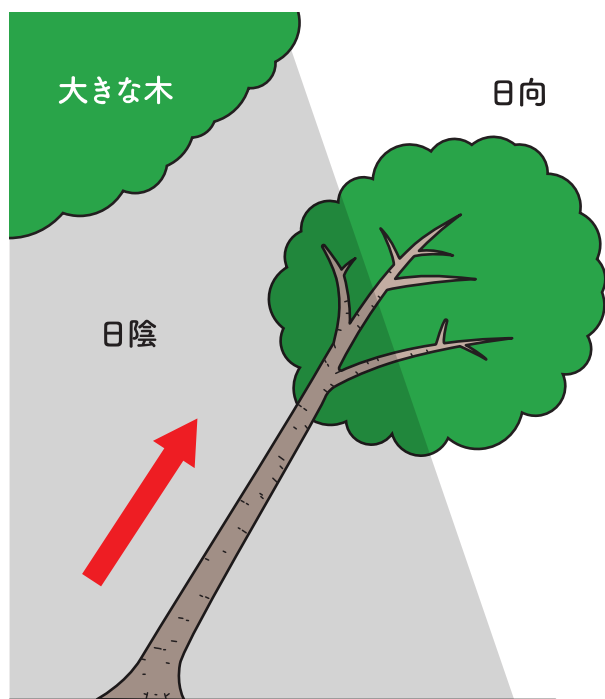
樹木の周りをまわって幹が傾いていないか観察してみましょう。幹が傾いている場合、根に問題があり、倒木する危険性が高くなることがあります。ただし、その他の原因で幹が傾いていることもあり、危険ではない場合もあります。よく観察して危い状態なのか見極められるようになりましょう。



よく観察して見極めよう!

安定した傾斜①

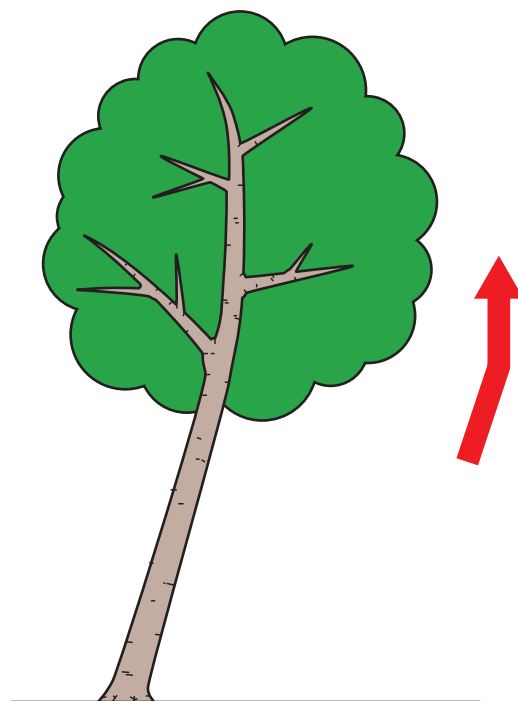
片側に大きな建物や樹木などがあり、日陰になっている場合は、日向を求めて幹が傾斜して成長します。このように環境に応じて成長している場合は根も地上部を支えるように発達しているため、倒木の危険性は低いと考えられます。



日向を求めて傾斜する幹

安定した傾斜②

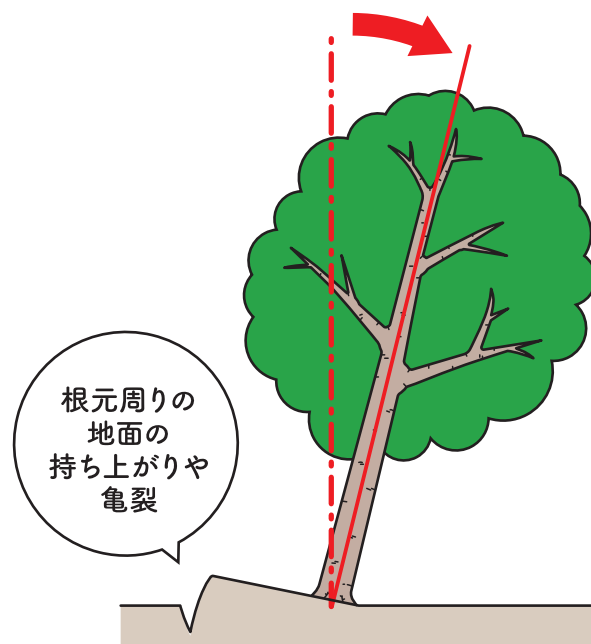
根元から幹の途中まで傾斜し、幹の上の方は真っ直ぐに立ち直っている場合も大きな問題はありません。過去に一度傾いたものの、その後順調に成長しており、支持力が回復していると考えられます。



傾斜が途中から立ち直っている幹

不安定な傾斜

根元から幹の頂部まで一定して傾斜している場合は、短期間で樹幹が傾斜した可能性が高く、倒木する危険性が高いと考えられます。傾斜と反対側の根元周りの地面が持ち上がったり、亀裂が生じていたりする場合は早急な対応が必要です。



公園・緑地の植栽点検・講習のご依頼は株式会社エコルまで！

